

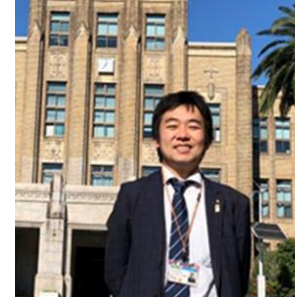
祝！ 1周年記念講演会 9 / 30

・演者：厚生労働省 医政局：矢野 好輝さん
アメリカの製薬力

～現地で見た高い危機管理能力～

・演者：多摩大学大学院 客員教授 石井 富美さん
医療DX。情報連携の現状から将来を考察する
～返書(診療情報提供書)の意味合い～

場所：JR品川駅 近隣会議室



タイトル：アメリカの製薬力 by 矢野先生

矢野先生のご講演内容：2020年夏から1年間、米国保健福祉省（HHS）で危機管理を担う事前準備・対応担当次官補局（ASPR）に派遣され、

危機管理に対する米国の対応を実感。そして、製薬企業の俊敏な対応までのご経験をご披露頂くことにしました。現地で見た高い危機管理能力、国策に対応した世界に冠たる製薬企業の力強いワクチンから治療薬までの開発力までご披露頂きます。

タイトル：医療DX by 石井先生

医療のICT化が求められていますが、現状の情報伝達で中心的役割のひとつに

返書の存在が大きいと思われます。薬局も含めた診療情報提供書の種類、内容、意味合いを深掘していただき、医療連携の幅広い知識の整理にも触れる

追加!1周年記念講演会10/11

「狭間先生と語ろう! 90分」

地域医療を支えるトータルケア病院
病院長 狭間先生と語る

思温病院180床の常勤医を中心に質の高いチーム医療を推進するとともに、病棟を急性期一般病棟60床・地域包括ケア病棟60床・療養病棟60床に再編し療養環境の向上に努めております (HPより)

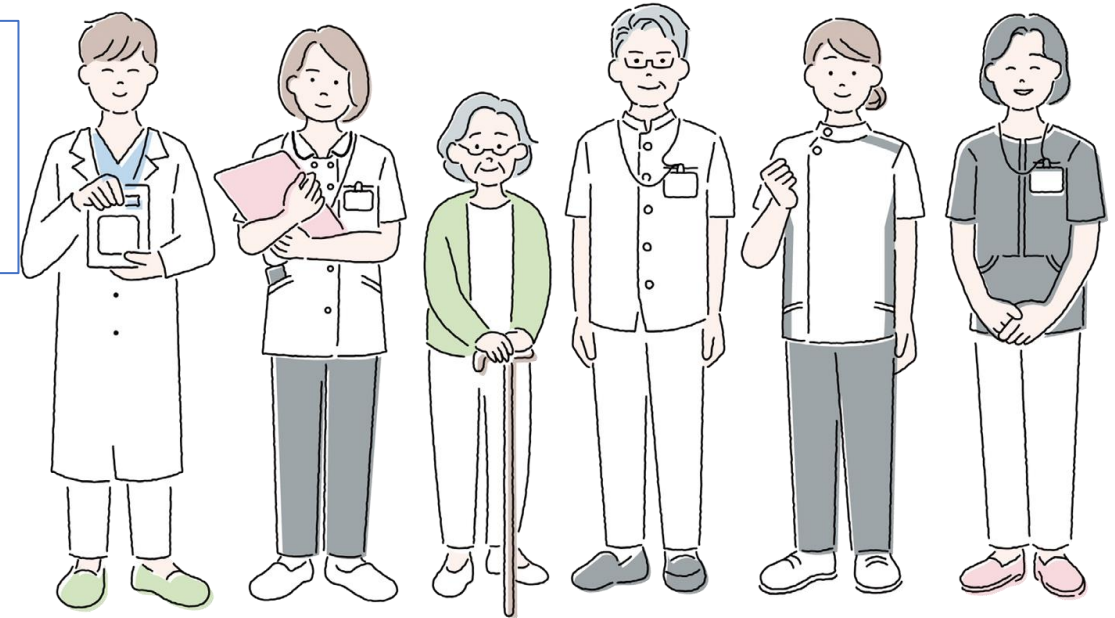
- 病院長のお立場で多職種連携を語る
- もちろん、薬局との連携で語る
- MS、MR連携について課題を
- 参加者全員が意見出し

Hospitals File

ホスピタルズ・ファイル



責任者のメッセージはこちら



開催場所：JR東京駅八重洲口 徒歩5分
イオンコンパス東京八重洲会議室 ...
〒104-0031東京都中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階
[電話] 03-6262-3954

追加♥1周年記念講演会10/26 (ZOOM)

今後の在宅医療を考える ～薬剤師の役割って なに？～



演者：entrepreneur 薬剤師 Y氏

- 地域医療とは？（諏訪中央病院 高木宏明先生）
地域住民が医療者とともに主体的に地域の医療文化を築き上げる活動であり、
国全体の医療の文化を高め深めていく運動である。
- その人が住み慣れた地域でその人らしく生活することを
薬物治療を通じてささえていくこと
- 薬剤師の役割とは・・・薬物治療を通じてささえる医療を実践する事
- 老人施設往診同行 薬物治療モニタリング■ 服薬支援■ 処方提案
- 保険薬剤師が行う在宅医療
- では、薬剤師としての専門性を、どう？発揮するか！ 具体的事例紹介